

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 備北粉化工業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒718-0017 岡山県新見市西方704
----	---------------------------	----	---

本票作成 部署名：備北粉化工業株式会社 本社 業務推進室

主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要 重質炭酸カルシウムの製造及び販売。生産量：約1万t/月、従業員数：96名。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	新見工場	岡山県新見市西方704
②	唐櫃鉦山	岡山県新見市哲多町本郷1073	
③	哲多工場	岡山県新見市哲多町本郷885-2	

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(令和 元)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	29,544 t CO ₂	21,727 t CO ₂	30,134 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元)年度排出量
	①	新見工場	20,308 t CO ₂
②	唐櫃鉦山	1,379 t CO ₂	
③	哲多工場	40 t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 令和 元 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(元)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	5.8 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 総生産量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(元)年度	目標年度
		141.9 t CO ₂ /(千t)	133.7 t CO ₂ /(千t)	134.8 t CO ₂ /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

昨年度に比べ全体的に生産量が減少したが、その中でも生産効率の良い製品生産量の割合が増え、工場全体の効率が上昇した。更に、効率の良いコンプレッサ1台を更新したことや工場の稼働方法の見直し、また事務所内の空調機器を更新したことによる効果が現れたと思われる。

【推進体制】

エネルギー管理委員会を開催し、現状の電力使用報告を行ったり今後の省エネ対策を検討した。また、省エネ対策に関する要項を定期的に回覧した。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(元年度実施分) 新見工場	(元年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・工場の運転停止方法の改善 (CO2削減量 5.5tCO2/年) ・効率の良いコンプレッサ1台導入 (CO2削減量 8.2tCO2/年) ・事務所内空調機器更新 (CO2削減量13.3tCO2/年)
(今後実施予定分) 新見工場	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・粉砕効率の良い粉砕機を導入 (CO2削減量25.5tCO2/年) ・工場の運転停止方法の改善 (CO2削減量13.1tCO2/年) ・Vベルトを省エネタイプに更新 (CO2削減量1.1tCO2/年) ・水銀灯をLEDに変更 (CO2削減量36tCO2/年) ・事務所照明をLEDに更新 (CO2削減量2.1tCO2/年) ・効率の良いコンプレッサ1台/年更新(合計3台) (CO2削減量6.8tCO2/年) ・空気輸送ラインの見直し (CO2削減量0.1tCO2/年)
唐櫃鉦山	<ul style="list-style-type: none"> ・脱水ラインの効率化 (CO2削減量0.5tCO2/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】